



富山大学

人間発達科学部発達教育学科教育心理コース

佐藤 徳 (さとう あつし)

所在地：富山県富山市五福 3190

<http://www.edu.u-toyama.ac.jp/app-def/S-102/edu/>

富山大学は平成 17 年 10 月に、富山県内にあった、旧富山大学、富山医科薬科大学、高岡短期大学の国立 3 大学を統合し、新たに基幹的な総合大学として生まれ変わりました。教育心理コースがある人間発達科学部は、新富山大学の誕生とともに、教育学部を改組して発足した、若い学部です。

人間発達科学部は、発達教育学科と人間環境システム学科の二つの学科からなり、教育心理コースは発達教育学科に属します。発達教育学科は、教育心理コース、学校教育コース、発達福祉コースの三つのコースからなり、障害者を含めた、乳幼児期から高齢期までのそれぞれのライフステージにおける発達上の諸課題を明らかにし、個々人の豊かな成長を促すための、保育、教育、福祉支援のあり方を実践的に学ぶ学科です。発達教育学科では、小学校の I 種教育職員免許状の取得が可能であり、隣接する幼稚園、中学校の教員免許を取得することも可能です。教育心理コースでは教員免許を取得しなくても卒業ができますが、それでも多くの学生さんが教員免許の取得をめざして頑張っています。

カリキュラムの特色

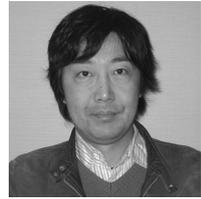
将来、教育心理コースに進学される学生は、人間発達科学部発達教育学科を受験することになります。コースへの配属は 1 年生の後期からになります。1 年生の前回は「教育心理学」という科目を

受講し、教育心理学で何が研究されているか、その全体像を知るとともに、基礎ゼミナールを受講し、発達教育学科の三つのコースのゼミをすべて順番に体験することになります。そのうえで進学したいコースの希望を出し、希望人数が各コースの受け入れ可能人数内であれば、後期から希望通りのコースに進むことができます。教育心理コースの受け入れ可能人数は 20 名であり、だいたい希望通りにコースに進むことができます。

1 年生の後期からは、いよいよ、より専門的に心理学を勉強します。教育心理コースでは、心理学の方法論と心理学各分野の知識を同時に学んでいきます。方法論については、1 年次後期に「心理学研究法」の授業を通して心理学の方法論の概略を学び、それをふまえて、2 年次以降、「心理学実験法」「心理学測定法」「心理統計学」などの科目を通して、心理学の方法論をより詳細に学びます。教育心理コースでは実践も重視しており、「教育心理学演習」や「教育心理学実験」の時間には、関心のあるテーマについて先行研究を自分で調べて報告したり、実際に自分で実験を行ってデータを分析したうえでレポートを書くなど、体験的に心理学の方法論を学びます。

教育心理コースでは、最初は各分野の全体像を知るために概説的な科目を受講し、学年が進むにつれてより専門的な科目を学んでいきます。動物心理学や生理心理学

Profile — 佐藤 徳
富山大学人間発達科学部
発達教育学科教授。専門
は社会認知科学、実験心
理学、社会心理学。主な
著書は、『ミクロコスモ
スから環境へ』（共著、
松籟社）、『原著で学ぶ社
会性の発達』（分担執筆、
ナカニシヤ出版）など。



こそ授業科目としてはありませんが、知覚・学習、教育・発達、人格・臨床、社会と、広く心理学の各領域を学ぶことができます。とくに、人格・臨床心理学領域は充実しており、アセスメント法から心理療法まで、広く深く学ぶことができます。

ひととおり各分野の科目を受講し、3 年生になると、ゼミに所属し、卒業研究に向けて、指導教員のもとで、自分の関心のあるテーマについての勉強を深めていきます。また、教育心理コースでは、臨床心理学をただ知識として学ぶだけではなく、実際に現場に出ることで体験的に学んでいきます。3 年次に開講される「臨床心理実習」では、富山県教育委員会と連携し、週に一度、県内の小中学校に出向き、教室に入りづらいなどの理由で別室登校をしている子どもたちのこころのサポートを行います。この授業は、講義で学んだ心理学の知識を現場で活かす機会になるばかりでなく、お兄さん、お姉さんとして子どもたちに寄り添い、よき話し相手になることで、子どもたちの居場所づくりにもつながっています。なお、教育心理コースでは、卒業所要単位を履修すると、自動的に、認定心理士の申請資格が得られます。

教員紹介

教育心理コースには 6 名の教員がいます。

村上宣寛教授は、『野宿大全』『アウトドア道具考』などの著書

を持つ、言わずと知れた野宿「学」の大家ですが（『心理学で何がわかるか』など心理学の著書も多数あります）、残念ながら教育心理コースでは野宿が科目として開講されておらず、教育心理学、パーソナリティ心理学関連の科目を主に担当しています。村上ゼミに入ると先生のご自宅で先生お手製のピザを食べることができます。小川亮教授は、教育工学、情報教育、学習心理学が専門であり、心理学教育論、認知心理学、心理統計学を主に担当しています。下田准教授、石津講師のゴルフ教師でもあります。姜信善准教授は、生徒の人間関係が専門であり、児童心理学、青年心理学を担当しています。コース唯一の女性教員として、女子学生のよき相談相手でもあります。下田芳幸准教授は、学校臨床心理学、とくに小中学生の心理的ストレスを専門としており、健康心理学、生涯発達心理学、発達臨床心理学などの科目を担当しています。バイクやジャパニメーションが趣味で、休日ともなると、夏はバイクで出かけ、雪の多い冬は部屋でDVDを見ているようです。石津憲一郎講師も学校臨床心理学（とくに中学生の過剰適応）を専門としており、カウンセリング、臨床心理学、生徒指導論などの科目を担当しています。筋トレが趣味で、最近是小川教授のゴルフレッスンを受けています。そして筆者は、社会認知神経科学を専門としており、学級集団心理学、社会心理学、知覚心理学、心理学実験法など、社会心理学、実験心理学関連の科目全般を担当しています。コースのボケ担当でもあります。

写真に見るように、スタッフは若く、笑い声が絶えず、何かにかこつけて教員どうしでも（！）ワ

インパーティを開いている、和気あいあいとしたコースです。

学部卒業後の進路

人間発達科学部になって以降、卒業生を送り出したのはまだ2年ほどであり、ここでは前身の教育学部時代も含めた主な進路を紹介します。小学校教員、地方公務員、国家公務員、大学院進学、塾講師、銀行、自動車販売などの民間企業、病院、福祉関係など、進路はさまざまですが、いずれも、心理学の知識や方法論を活かしながら活躍しています。県内や石川県で就職する学生が多く、卒業後も研究室に遊びに来たり、教員と飲みに行ったり、仲良くしています。

学生生活の魅力

学生は、県内以外には、石川県、岐阜県と近隣の出身者が多いですが、愛知県、秋田県、山口県、和歌山県、兵庫県など、全国各地から集まってきます。人間発達科学部のある富山大学五福キャンパスは、繁華街からも近く、市内電車が走るなど交通の便もよく、授業のない時間は、多くの学生が街に出てアルバイトをしています。学生は、アルバイトを通して社会人としての自覚やコミュニケーションの大切さなどを学ぶとともに、いろいろなアルバイトを経験してみることで自分に向けた仕事を見つけていくようです。

富山大学はサークル活動もさかんです。サークル活動では、違う学部の学生とも親しくなることができます。サークルの仲間との人間関係はこれからの人生の大切な財産となっていくます。また、教育心理コースには、各教員が管轄する研究室

や実験室のほかにコースの学生の控室もあり、学生は授業の空いた時間に控室に集まっては勉強したり、談笑したりしています。実験や調査など、お互いに協力しながら進める授業も多く、みな仲良くやっています。

富山は魚が安くておいしいところ です。春はホタルイカ、夏は岩牡蠣、冬は香箱カニ（ズワイガニのメス）に、タラの白子に、寒ブリに。香箱カニなど、スーパーで1杯300円もしていたら高いと思ってしまう。内子など、一度食べたら忘れられません。学生はおいしい魚を食べ慣れてしまい、もう他では魚を食べられないと言います。なんとも罪作りです。富山には富山ブラックというラーメンもあります。県外出身者の私には残念ながらしょっぱくて食べられないのですが、県内出身の学生はこれこそがラーメンだと言います。県外の大学に進学した学生も、わざわざ富山ブラックを食べに帰省するそうです。富山はまた立山連峰を望む自然の豊かなところでもあります。クマも出ますが、いたるところで温泉も出ます。春になると山菜取りも楽しめます。星もきれいです。

みなさんも、魚がおいしく、家賃も安く住みやすい富山で、一緒に心理学を学んでみませんか！



左上から、小川教授、石津講師、佐藤教授、村上教授。左下から下田准教授、姜准教授。